

■ 効果の見える治水事業
徳島県 坂野海岸 高潮対策事業

徳島県県土整備部東部県土整備局 局長 瀬尾 守



坂野海岸は、徳島県東部の小松島市に位置し、紀伊水道に面する延長約 3.3km の海岸です。当海岸は南側の一級河川那賀川から供給される土砂が堆積し形成された砂浜海岸でしたが、昭和 30 年代以降、当海岸の全域で侵食が目立ちはじめ、激浪が打ち寄せる台風時には、堤内地の住民に脅威を与え、度重なる浸水被害を引き起こしてきました。

このため、海岸の侵食を抑えるとともに波浪に対する防護機能を高める海岸堤防や離岸堤及び突堤等の整備を進めております。

しかし、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震では、震度 7 の揺れとともに、繰り返し押し寄せる津波により、海岸堤防が損傷し、甚大な被害が発生する恐れがあります。

このことから、津波に対しても、粘り強く海岸保全施設の機能を維持することを目的に、平成 22 年度から堤防補強工事を進め、平成 28 年度からは、堤内地側の堤防法面の補強工事に着手しております。

この堤防補強工事により、地域の皆様の安全で安心な暮らしの確保はもとより、迅速な復旧復興や経済社会の重要な機能の維持を図る国土強靱化に大いに寄与するものと考えております。

- 事業箇所：小松島市和田島町
- 事業期間：平成 22 年度～
- 工事概要：堤防補強工事 1 式

【位置図】



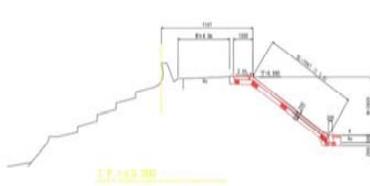
【平常時状況】



【台風時状況】



【標準断面図 堤防補強工事（堤内地側）】



【堤防補強工事状況（堤内地側）】



■ 坂野海岸 高潮対策事業に期待すること

小松島市長 濱田 保徳



小松島市は、徳島県の東部に位置し、面積45.30km²、市北部は県都徳島市と接し、海を隔てた近畿圏との海陸交通の要衝として栄えた港湾都市であります。近年は、本州四国連絡橋の開通による交通手段の多様化によりフェリー航路は廃止されたものの、大型公共埠頭やコンテナターミナルの整備が進み、韓国コンテナ船の利用や優雅クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港するなど、物流や観光の拠点として今後の役割が期待されています。

一方で、本市沿岸部においては、南海地震の津波をはじめ、第二室戸台風の高潮など、甚大な被害を繰り返し受けてきており、さらに先般、政府は、南海トラフ地震の発生確率が上昇したとの見解を公表しており、これまでも増して、地震・津波対策を進める必要があります。

特に坂野海岸の背後地は、那賀川の沖積により形成された肥沃な土壌で育まれる水稻のほか、イチゴ・キュウリ等の施設園芸や、さらに目前にある紀伊水道を漁場とし、高級食材として知られる「ハモ」や「和田島チリメン」などの水産加工も盛んに行われている地域であることから、坂野海岸の堤防補強工事の完成によって、地震・津波時には、住民の皆様が避難する時間の確保等に大きな役割を果たすものと期待しております。

また、本市においても、津波災害警戒区域の指定を受け、小松島市津波避難計画及び津波ハザードマップの作成や、さらに避難困難地域であった坂野海岸の背後地には、盛り土式の津波避難施設「希望の丘」を8月1日から一般開放するなど、「助かる命を助ける」との視点で防災・減災対策の推進に努めているところであります。

最後に、今後とも防災意識の高揚を図り、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、尽力してまいりますので、関係機関の皆様方におかれましては、引き続き、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。

小松島ニュータウン地区 津波避難施設 「希望の丘」

優雅クルーズ客船 「ダイヤモンド・プリンセス」

「ハモの湯引き」

津波避難施設 断面図

「津波警報が解除されるまで」絶対に戻らない!!

小松島市

